

他分野との連携の現状

野上大作

端的に書けば

「高宇連とは連携した動きができ
そうだが、他分野は静観の構え」
という状況

経過 1

- 5月13日(水) 山田さん@JAXAよりミッションカテゴリー再定義についての意見募集の連絡。5月18日が締切。
- 5月14日(木) 運営委員会+2030WGで山田さんから説明を聞いて議論。2030WGで意見をまとめることに決定。gopiraに報告。
- 5月15日(金) 運営委員会で他分野との連携を探ることに決定。
- 5月17日(日) 野上から高宇連、太陽研連、宇電懇、理論懇の代表にミッションカテゴリー再定義への対応を問い合わせるメールを発出。
- 5月18日(月)8時 高宇連の森さんより、高宇連でも文書をまとめつつあるとのメール。コミュニティを超えての議論に賛意。
- 5月18日(月)11時 津村さんが中心となってまとめた意見書原稿が、2030WGより運営委員会に送付された。運営委員会で文言に若干手を入れ、同日12時21分に意見書を山田さんに提出。

経過 2

- 5月19日(火) 森さんから高宇連の意見書が送られてきて、こちらから光赤天連の意見書を送る。
- 5月22日(金) 光赤天連及び高宇連の意見書をgopira MLに流して、光赤天連webに光赤天連のものを掲載。さらに意見を募る。
- 他コミュニティの代表との連絡を続けるが、理論懇はそもそも情報が流れていない、宇電懇は会員MLに意見募集の告知が流れただけ、太陽研連はSolar-Cの公募型小型4号機に選定され、それ以降の計画については議論が盛り上がらない、とのこと。
- 6月13日(土) 高宇連、太陽研連、宇電懇、理論懇の代表に、今後分野を超えて影響があるような件については、情報共有と意見交換を行なうようにしましょうというメールを発出。その後のメールでの議論では、そのこと自体は賛成だが、具体的に共通の「何か」がないと議論が発散して実りがなくなる、という流れに。

経過3

- 7月4日(火) 高宇連の森会長＋運営委員2名と光赤天連運営委員＋2030WGメンバーで議論。太陽研連の今田会長もオブザーバー参加。今後の旗艦ミッションは国際協力を前提として進むことが明らかなのにそれを制限する方向なのはどうか？中小規模の打ち上げ頻度を減らすのは人材育成や技術開発・継承の面でどうか？という大きな問題は共有するが、高宇連の方がより細かく具体的なところまで検討を進めていた印象。
- 8月上旬にJAXAが意見書に対して何らかの返答を出す予定とのこと、それが出てからまた光赤天連と高宇連で議論をしようということだったが。。。